

<402> 「ペーパーテスト」で学習評価するコツは？

身について「学力の3要素」を「評価の3観点」で学習評価できるペーパーテストの作成するコツを示してみます。なお、ペーパーテストの例を参考資料として示してあります。

コツー1：「評価の3観点」全てで出題するようにする

観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の全ての観点で出題するには、観点「主体的に学習に取り組む態度」は、関連する「知識・技能」及び「思考・判断・表現」の問題と関連付けて出題します。観点「思考・判断・表現」は、関連する「知識・技能」の問題と関連付けて出題するようにします。

コツー2：「評価の3観点」に応じた問いかけの語尾にする

問いかけの語尾は資料1に示すように、「評価の3観点」の何を問いかけているかが分かるようにします。

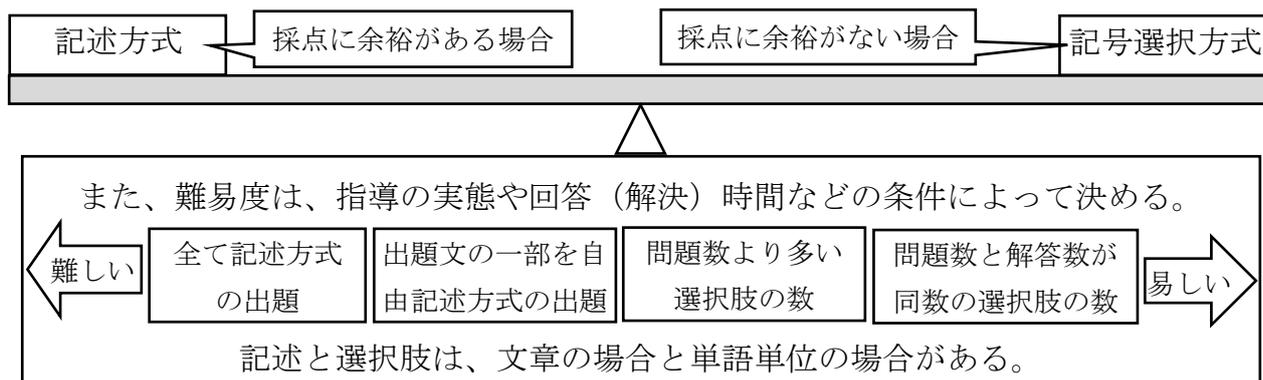
資料1：「評価の3観点」に応じた問いかけの語尾

評価の3観点	基本	問いかけの工夫の例
知識・技能	知った、分かった、 覚えた、出来た	(用語を) 書こう、出来たらことを書こう、(知識の内容を) 調べてみよう、知識・技能の内容をまとめよう、関係あるものを線で結ぼう
思考・ 判断・ 表現	…を考えた、…を選ぶ、 …を決める、…をかく	条件にあうものを選ぼう、寸法を決めよう、あなたが工夫したことを書こう、あなたの考えたことを書こう、条件や理由を考えて、〇〇をまとめよう。
主体的に学習に取り組む態度	感じた、気づいた、 思った、どう生かすか	<ul style="list-style-type: none"> ・「…について感じたことを自由に書こう」 ・「あなたはこれからの生活でどう生かして(実践して)いくか、 ・「学んだことを生活でどう生かしていくか」

コツー3：出来るだけ記述させるようにする

「評価の3観点」の学力達成を学習評価するには、できるだけ生徒に記述させる問題形式にしていくのが望ましいですが、採点に時間的余裕がない時は記号選択方式にしていきます。その兼ね合いを資料2に示してみます。

資料2：記述方式と記号選択方式の兼ね合いイメージ



参考資料：ペーパーテストの例

1 飲料用の容器は、様々な技術の工夫がされています。次の容器について各問いに答えなさい。



(1) 飲料缶に使われている 3つの材料にだけにイえる材料の特徴を、ア～キから選び答えなさい。
観点【知識・技能】

- ア：材料が高価でありリサイクルされる割合が多い。
- イ：透明であり中の様子が分かる。
- ウ：ほとんどの缶が2つの部品でできている。
- エ：3つの部品でつくられる缶と製造技術の進歩により2つの部品でできている缶とがある。
- オ：磁石に反応するので、電気磁石によって容易に分別されている。
- カ：材料に印刷することがしにくいので、ラベルを貼っている。

プラスチック	鉄	アルミニウム
イ, カ	エ オ	ア, ウ

(2) 炭酸飲料の飲料缶は、中の圧力に耐える工夫がされています。上のa～dのどの形状か、また、どう工夫されているかを簡単に説明しなさい。
観点【思考・判断・表現】

形状	圧力に耐える工夫例の説明

(3) 飲み終わった時に、各自治体の決められた方法で分別する必要があります。分別する必要がある意味を踏まえてあなたはどのようにしていくかをSDGsの役目から技術の立場から説明しなさい。
点【主体的に学習に取り組む態度】

